広報 Ibaraki Public Information
いばらき
2026年（令和８年）
11月１日　発行
11
No.1163
November 2026

◆編集・発行
茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029−292−1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口
住民基本台帳
令和８年９月末現在
男　14,902人
女　14,870人
総人口　29,772人
世帯数　13,767世帯

◆茨城町民憲章
1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
1 隣人や家庭の愛を大切にして、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花　桜
◆町の木　梅
◆町の鳥　うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレフォンサービス
☎０８００−８００−８８４８
（通話料無料）
町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!
●町公式ホームページ
https://www.town.ibaraki.lg.jp/
●町公式Ｘ（旧ツイッター）
https://twitter.com/IbarakiTownMati/
●町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/
●町公式ライン
https://page.line.me/?accountId=ibarakitown



里山に育む生きものたち

No.172　オオワシ

学名　*Haliaeetus pelagicus*

写真・文　仲田　立

オオワシ（大鷲）とは

オオワシの名前の由来は、「大きな鷲」という意味です。英名(Steller's Sea Eagle)は、「ステラーの海ワシ」という意味です。ステラーはカムチャツカなどを探検した博物学者で、オオワシを西洋に紹介し、その名が付けられました。

全長約90～100㎝、翼開長2.2～2.5ｍにも達し、日本に飛来する猛禽類の中で最大級（オジロワシより大きい）です。成鳥は全身が黒く、小雨覆や尾羽などが白く、嘴や足は鮮やかな橙黄色です。小雨覆とは、鳥の翼の前縁に近い部を覆う小さな羽毛の集まりで、気流をスムーズに整え、飛行をサポートする役割を持っています。

極東地域にしか生息していない貴重なワシで、本州では少数が越冬します。海ワシの仲間は、海沿いに生息し、主に魚類を足ですくうように捕食します。

涸沼のオオワシの記録

涸沼では、平成６年の３月から毎年のように確認されていました（日本野鳥の会会誌「ひばり」による）。しかし、令和２年の具体的な記録を最後に、27年間にわたり見られた個体が、確認されなくなりました。

野性のオオワシの寿命は、20年から30年程度と言われています。平成６年のひばり（199号）には、「白い肩羽には僅かに茶色の羽毛が残っていた。成鳥だが、まだ若いようだ。」と書かれています。オオワシは、幼鳥のうちは全身が焦げ茶色で、生まれてから７年ほどで完全な成長羽になります。肩羽に僅かに茶色が残る段階は白色化がほぼ完了しつつある５～６歳前後の個体であると考えられます。涸沼に飛来していたオオワシが、同一個体だとすれば、令和２年で32歳前後になります。長寿でした。

涸沼がオオワシの生息地であったことは、ラムサール条約湿地として登録されるための基準の一つでした。また、新しい個体が飛来するよう期待しています。


オオワシ（幼鳥）

ちびっ子アート　いばらき幼稚園



「うみにいったよ」
おづつみ　ほのか（年長）



「ながれるプールをしたよ」
さとう　かのん（年長）

再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK 環境に優しい大豆油インキを使用しています